

「一中祭」に向けて

～北海道科学大学よさこい「相羅」を招いての芸術鑑賞～

今月の9月29日（土）に開催する一中祭では、各クラスが「よさこい」を踊ります。その踊りをより高めるために、北海道科学大学のよさこいチーム『相羅』から1・2年生10名の学生のみなさんに来校して頂き、演舞の鑑賞と基本の踊り方を学びました。

最初は、6月札幌で行われた「よさこいソーラン」で実際に踊られたものを演舞として披露して頂きました。そのあと、基本的な踊りを一つ一つ丁寧に教えてもらいながら、クラスごとに分かれ鳴子の使い方や法被を着させてもらうなど、充実した芸術鑑賞会ができました。

子どもたちは、体育館いっぱいに響き渡る迫力ある声とともに一糸乱れぬ素晴らしい踊りに感動しながら、疲れても休むことを惜しんでよさこいを必死に踊りました。

これから一中祭に向けて準備や練習がはじまりますが、今日の鑑賞会で学んだことを活かし、素晴らしい「一中よさこい」を作り上げてほしいと思います。



代表生徒からのお礼のあいさつ

